

平成 26 年 3 月 4 日

第 2 4 回玄海町立小中学校基本構想等検討委員会

I. 開 会

II. 協 議

1. 検討委員会作業部会の進捗について
2. 校名・通称の選定について
3. 玄海町立小中学校校舎・体育館建設工事について
4. その他

IV. 次回日程の確認

平成 26 年 月 日 () 18 時 30 分～20 時 00 分

V. 閉 会

1. 検討委員会作業部会の進捗について

(1) 協議内容と進捗状況 (1月25日～2月28日分)

会議名	○協議項目と内容 ★仮決定・一応の決定	開催状況
		予定
①議会 教育環境調査 特別委員会	㊦検討委員会及び作業部会の進捗状況報告 ㊦小中学校建設工事の進捗状況報告 (資料 No. 1)	2月25日
②学校運営 作業部会	㊦校名・通称の選定について(別途協議案件) 校名提案候補を3案、通称提案候補を4案選定。	第6回: 2月4日 第7回: 2月18日
(予定)	㊦制服について	第8回: 3月11日
③学校支援 作業部会	㊦PTA・育友会の組織体制について ★3月25日までに各PTA・育友会にて本骨子を提示し、意見を求める。 ㊦PTA・育友会会費について ・各会の予算等をみながら必要な活動について協議。	第6回: 2月12日
(予定)	㊦PTA・育友会の組織体制について ・各PTA・育友会から出された意見を集約し、協議。	第7回: 3月26日
④事務 作業部会 (予定)	㊦備品の精査 ・現品備品の確認を実施済。詳細な移動スケジュールと移動方法について、協議。 ㊦校納金の事務取扱いについて	第5回: 3月4日
⑤教育課程等 作業部会	㊦グランドデザインについて ★求める、目指す子ども像を設定 ㊦平成26年度交流行事について(資料 No.2) ★主な交流行事を各校の年間行事に反映する ㊦生徒会について ★生徒会の大きな構成を仮決定。詳細は担当者会で調整する。 ㊦先進校視察(資料 No.3) ・八女市立上陽北浜学園 ・松江市立小中一貫校八束学園 ㊦教科等の教育課程について ★教育課程の編成作業手順を仮決定。 ・今年度中に作成メンバー編制(案)を協議 ・カリキュラム取り纏め様式の設定	第6回: 1月27日 第7回: 2月17日 第8回: 2月25日

	・5月の町教研で全体説明 ・夏季休業中で集中的にカリキュラム計画の作成 ・9月作業部会で取り纏め計画	
⑥通学 作業部会 (予定)	⑦自転車等購入補助制度について 補助制度の詳細（補助額、補助対象など）について協議	第6回：3月19日

2. 校名・通称の選定について

(1) 今後の提案スケジュール

	平成25年度												平成26年度												
	1月		2月				3月				4月				5月				6月						
	19-25	26-1	2-8	9-15	16-22	23-1	2-8	9-15	16-22	23-29	30-5	6-12	13-19	20-26	27-3	4-10	11-17	18-24	25-31	1-7	8-14	15-21	22-28	29-30	
玄海町議会																					← 例年 →				
議会 教育環境調査特別委員会			← 状況報告 →												●提案・説明										
町長部局			← 状況報告 →										●説明					●議案提出締切							
教育委員会			← 臨時委員会にあわせ、実施 →								●最終決定														
検討委員会		●	← 必要に応じて実施 →				●最終決定																		
学校運営作業部会	●	←	必要に応じて会議を実施								●最終決定														

(2) 校名の提案(五十音順)

提案の校名と理由は下記のとおり。理由は応募理由と部会の選定理由を含めて、提案理由とした。

校 名	提案理由
(a)玄海町立 海桜(かいおう) 小学校 玄海町立 海桜 中学校	・玄海町は自然に恵まれ、海があり、町花の桜に囲まれている。 ・新しい学校の場所は、桜が満開の時はとてもきれいで、海も目の前。名前から場所もイメージできる。 ・響きが良い。
(b)玄海町立 玄海(げんかい) 小学校 玄海町立 玄海 中学校	・玄海町に一つの学校、みんなにわかりやすい、覚えやすい。 ・町(ふるさと)を愛する心を育てほしい。 ・町名を大切にしたい。 ・玄海町の玄を使うことで、出身であることを主張してほしい。 ・町立を除いた名前になった時、「玄海」を残したい。
(c)玄海町立 玄海(げんかい)みらい 小学校 玄海町立 玄海みらい 中学校	・玄海町の玄を使うことで、出身であることを主張してほしい。 ・町立を除いた名前になった時、「玄海」を残したい。 ・「みらい」という言葉が、将来を考える、将来を明るく照らすというイメージ。

(3)通称の選定(五十音順)

提案の通称と理由は下記のとおり。理由は応募理由と部会の選定理由を含めて、提案理由とした。

通 称	提案理由
(a)玄海学園	・「玄海」という言葉を残す。 ・玄海町に一つの学校、みんなにわかりやすい、覚えやすい。 ・町(ふるさと)を愛する心を育んでほしい。 ・町名を大切にしたい。 ・玄海町の玄を使うことで、出身であることを主張してほしい。
(b)玄海町立海桜（みざくら→かいおう）学園 (応募者より読み仮名変更について了解済)	・素敵な海があり、玄海町花の桜を1文字ずつ取る。 ・玄海町は自然に恵まれ、海があり、町花の桜に囲まれている。 ・新しい学校の場所は、桜が満開の時はとてもきれいで、海も目の前。名前から場所もイメージできる。
(c)玄海みらい学園	・「玄海」という言葉を残す。 ・玄海町の玄を使うことで、出身であることを主張してほしい。 ・「みらい」という言葉が、将来を考える、将来を明るく照らすというイメージ。
(d)小中一貫校玄海学園	・学園の響きと玄海とのマッチング。 ・町名を大切にしたい。 ・玄海町だから。 ・「玄海」という言葉を残す。 ・玄海町に一つの学校、みんなにわかりやすい、覚えやすい。 ・町(ふるさと)を愛する心を育んでほしい。 ・玄海町の玄を使うことで、出身であることを主張してほしい。

3. 玄海町立小中学校校舎・体育館建設工事について

(1) 工事の進捗状況

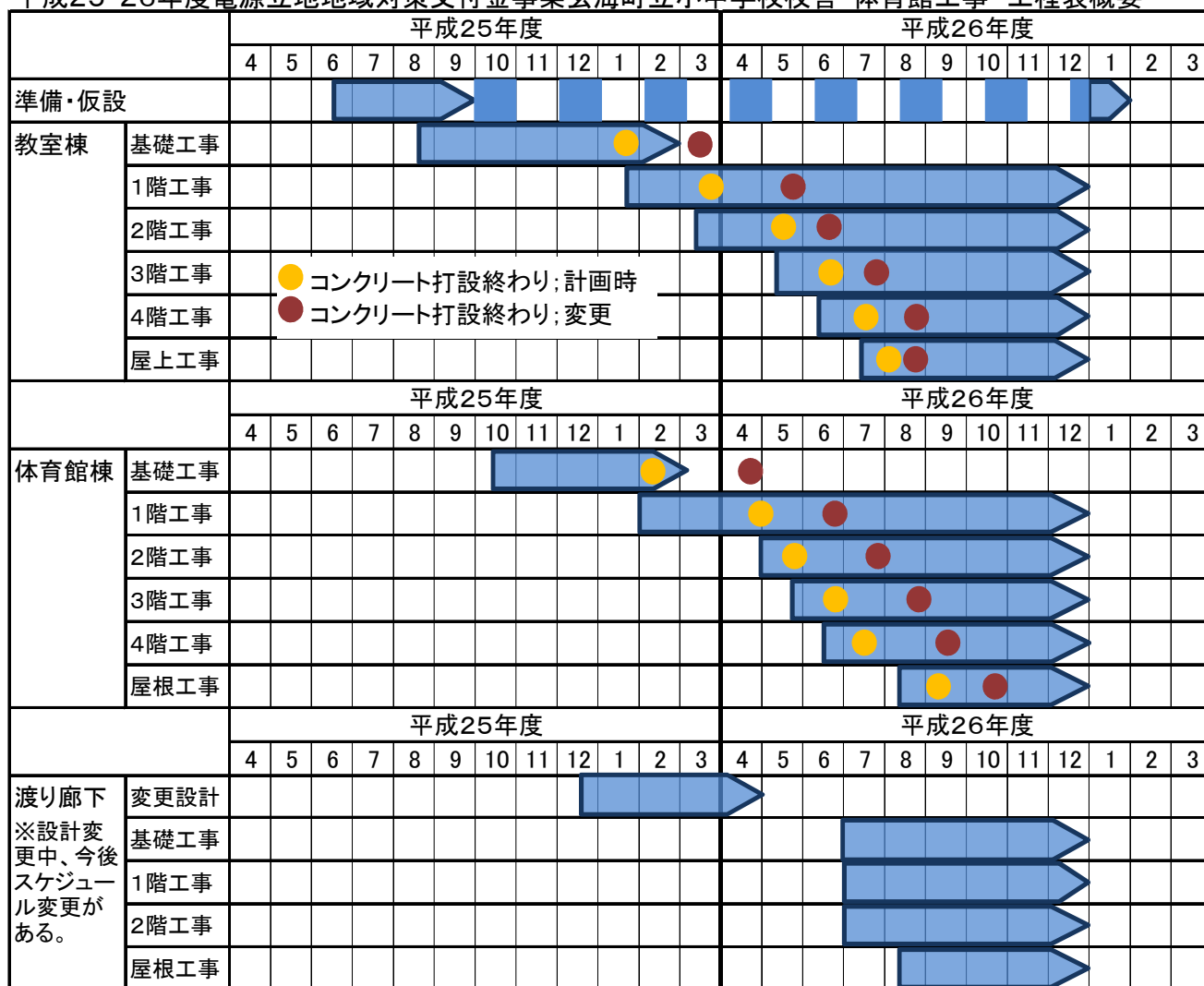
11月～3月下旬：基礎・地中梁工事

計画よりも、約1.5ヶ月の遅れ

理由：復興需要や景気回復に伴う需要増、消費増税前の需要増が要因と見られる建設業界全体に及ぶ資材不足や作業員不足、近年の公共工事等減少による専門技能を身に付けた建設職人の大幅減により、請負事業者が、予定していた作業員数を確保できずに工事が遅れている。

対策：請負事業者において、広く県外も含めて作業員確保に動いている。

平成25・26年度電源立地地域対策交付金事業玄海町立小中学校校舎・体育館工事 工程表概要



(2) 校舎・体育館の外壁カラーコンセプトについて（当日配布）

校舎及び体育館の外観やサッシュ(sash)等のカラーについて、協議。

官学連携にて提案されたカラー、設計事務所より提案されたカラー等を協議した結果、今回示している内容にて進めていくこととしたい。

主な行事予定表

行事名 ◎交流行事を示す	平成26年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1学期始業式	7											
中学校入学式	8											
小学校入学式	11											
◎ 宿泊研修 (7・8年合同)		15・16										
教育の日		第3日曜										
1学期終業式				18								
◎ 合同キャンプ(5年生)				5・6								
◎ 平和集会(7～9年)					6							
◎ 合同レク(7年生)					27							
2学期始業式												
保中間交流												
有浦中							24					
値賀中								11				
◎ 小小間交流												
1年生												
2年生												
3年生												
4年生												
5年生												
6年生												
文化発表会							有浦中	値賀中				
◎ 新1・7年生説明会									17?			
2学期終業式									24			
3学期始業式										8		
中学校卒業式											13	
小学校卒業式											18	
3学期終業式												20
保小間交流												
有徳小	学校見学:下旬							1年生交流:下旬		未定:3学期		
値賀小	芋苗植え:下旬			学校探検:下旬			芋ほり:初旬		餅つき会:下旬			

I. 視察先

1. 小中一貫教育校八女市立上陽北湊学園（八女市立上陽北湊学園小学校、上陽北湊学園中学校）
2. 松江市立小中一貫校八束学園（松江市立八束小学校、八束中学校）

II. 視察目的

主に下記項目が含まれている小中一貫校を視察し、実施によるメリットや課題、更には教育課程を編成するうえで行うべきことや注意すべきことを把握し、新校の教育課程編成に生かす。

- ①独自の教科や独自の学習スタイルを持っていること。
- ②1年から9年までの系統性をもったカリキュラムに基づき、教育計画が立案されていること。
- ③小学校教員が中学校の授業へ、中学校教員が小学校へ乗入授業を行っていること。
- ④開校から2～3年経過していること。

III. 視察概要

1. 小中一貫教育校八女市立上陽北湊学園（視察日平成26年1月29日）

(1)開校：平成21年度開校（当初は分離型）

(2)児童生徒数：約240名

(3)特徴

(ア)学習指導

授業の進め方は全学年統一。「つかむ」「見通す」「いどむ」「高め合う」「味わう」

授業研究の学園テーマを設定。実際の研究では小中別に実施。

(イ)教育カリキュラム

教科ごとに小学校と中学校の先生が一緒に作成している。

小学校の学習内容が、中学校のどの段階につながっているのか、系統図で確認。

(ウ)独自教科

「礼節・ことば科」を設置。年間約40時間実施。

小学校は国語や生活・総合の時間を活用。中学校は国語、総合、体育の時間を活用。礼儀や地域学習、茶道、剣道をメインに取り扱う。

市教委が製作した教科書(前・中・後期別)を使って指導。

(エ)乗入授業

小中教職員の乗入授業の教科は、年度ごとに職員構成に応じて変更している。

H25年度は社会5・6・8年、理科3～6年、音楽4～6年、図工4～6年、体育5年、家庭科、算数5～6年で実施。少人数の市費教職員配置し、補充を行う。

(オ)5年生からの定期考査

年に4回実施。現在は、国語と算数のみ。

テスト範囲を示し、学習計画を立てさせて、テスト勉強をさせているため、5年時から学習計画や学習方法を学ぶことができる。

保護者には、学級平均と点数を開示。

2. 松江市立小中一貫校八束学園（視察日平成 26 年 1 月 30 日）

(1)開校：平成 23 年 1 月

(2)児童生徒数：約 290 名

(3)特徴

(ア)学校運営

小中全教職員に兼務発令。

小学部教員のうち、中学部の教科免許取得者は約 9 割。保有していない者も臨時免許取得を行っている。

教職員研修は全員で行っている。小中関係なく、班編成を行う。

校務分掌は基本的に小学部教員と中学部教員が一名ずつの二名体制。

小中教員で話し合いの時間を確保することが大切。一緒に生活する中では、双方経験ないことが多い。

(イ)乗入授業

小学部教員が 7 年生の国・数・理・英の授業に T2 として参加。

中学部教員が 5・6 年生の国・算・理・外国語活動を指導。一部教科担任制。

(ウ)学校行事

前期(1～4 年)リーダーの卒業として、4 年生で 2 分の 1 成人式。1～3 年生がお祝い。7 年生では立志式。後期へ向かう心構えとして位置づけ。

1 年生の入学式は全員が参加。入場は 1 年生と 6 年生が、退場は 1 年生と 9 年生が手をつないで行う。

6 年生は卒業式をせず、小学課程を修了した証として修了式を行う。7 年生は始業式の折、進級式を行う。

(エ)教育課程

教科ごとに年間指導計画を作成。小学部の単元内容と中学部の単元内容につながりがあることを表示している。

「学び方」（学習の仕方、学習スキル）を各教科で設定し、子どもの発達段階に応じて身につけさせたい内容を具体化。

「生き方学習」15 歳になったときの自立力を養うため、人権・人間関係・コミュニケーションなどを主とした学習。

(オ)6 年生のリーダー性

6 年生のリーダー性が少なくなるのではないかという課題があったため、小学部のリーダーとして、リーダーを鍛える取組みを意識的に導入。4 年生や 6 年生でリーダー性を育てる。体育祭の応援合戦を小中別々にさせたり、小学部は集団登校をするのでそのリーダーに位置づけたり、児童会・生徒会を分けて実施してリーダー性の育成に取り組む。

(カ)6 年生の期末テスト

国・社・算・理の 4 教科。教科担当の先生がテストを作る。

保護者に結果を開示。

(キ)部活動

6年生は、11月から体験入部し、12月から仮入部している。昨年までは2月だったが、小中一貫のメリットと部活動人数が少ない点を考慮。

6年生は土日いずれか、休むように指導。顧問がその場にはいないときは、部活動をさせていない。

部活動によっては、6年生も試合に参加可能としている大会もある。